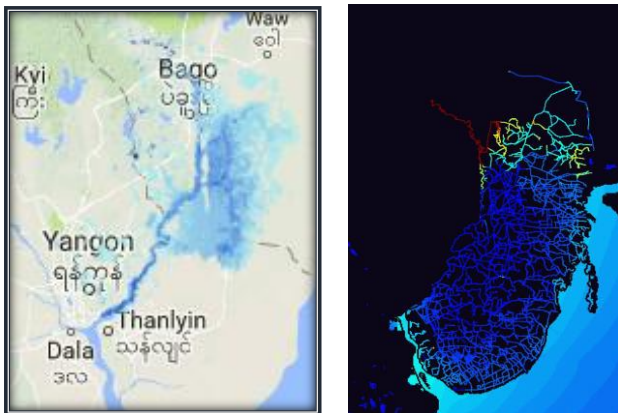


災害から国を守るシステムと技術の開発

① リアルタイム処理洪水氾濫解析システム

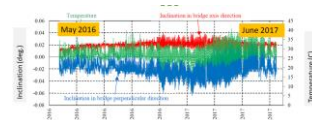


雨量観測のデータと数値解析のモデルから、リアルタイムで洪水の氾濫解析を行っています。

② 建造物の災害からの被害を減らす機能確保



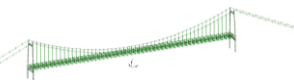
損傷したつり橋



モニタリング



3Dで作成した損傷吊橋



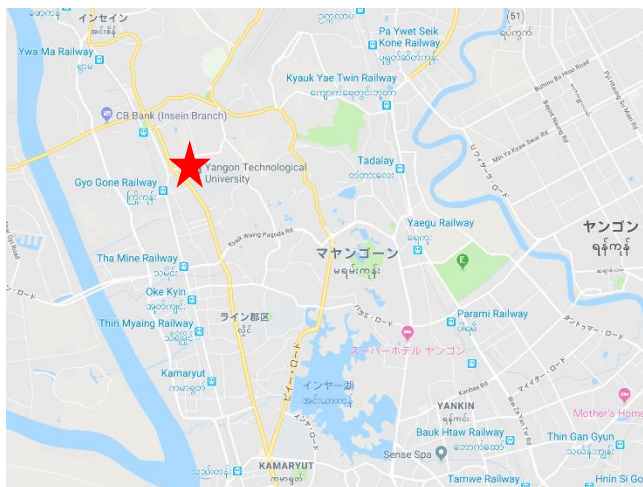
構造の解析

社会基盤施設（橋）の維持管理技術と制度の研究をしています。

SATREPS プロジェクト事務所

Yangon Technological University,
Insein Township, Yangon, Myanmar

Eメール： social@jicasatreps-ytu.com



独立行政法人国際協力機構 (JICA) は、

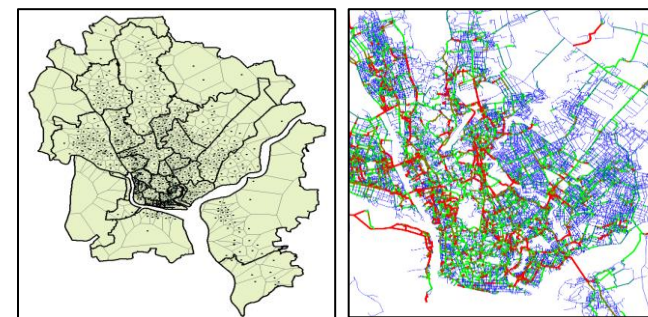
日本の政府開発援助 (ODA) を行う実施機関として開発途上国への国際協力を行っています。

Version_2018 August



SATREPS

ミャンマーの災害対応力強化システムと
産学官連携プラットフォームの構築



※SATREPS とは、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 並びに国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) と独立行政法人国際協力機構 (JICA) が共同で実施している、開発途上国の研究者が共同で研究を行う 3~5 年間の研究プログラムです。

プロジェクト目標

ミャンマーの変化に対応するモニタリングと評価、災害の弱さの変化を予測し、対応するシステムと技術、人材を育てるプログラム、国際的な産学官(企業・大学・政府)連携のプラットフォームを構築する。

期待される効果

1. 災害の弱さを評価するための物理モデル開発
2. 災害の弱さを評価するシナリオ解析の開発
3. 研究活動と人間開発の維持と拡大へ都市安全への研究センターの主な役割と活動の開発
4. 十分な技術でインフラ維持管理を含む災害対応支援システムの開発

プロジェクト期間

2014年10月1日～2020年3月31日

プロジェクト対象地域

ヤンゴンおよびバゴ

背景

ミャンマーは風水害や地震災害の多い国ですが、近年の急激な都市化で災害リスクは増大しています。一方で社会基盤施設(インフラ)の維持管理技術、災害対策、人材と関係機関の連携体制などの課題が山積みです。都市化に伴う洪水と地震災害のリスクを予測し、災害から人命と財産を守る技術とシステムを構築、災害に対応できる人材の確保と産学官の連携体制を構築するために採択されました。

プロジェクトの全体図

